

お米の異品種混入（コンタミ）防止 チェックリスト

3月

種子予措

- ①使用する種子のロットナンバーを控える。
- ②種子消毒、浸種作業に使用するネット袋には、品種名を明示し、取り違いに注意すること。
- ③芽出し作業時には、品種切り替え毎に催芽機の清掃を行うこと。

4月

育苗

- ④播種機は、作業前及び品種切り替え毎に清掃を行ない、残粒した籾を除去すること。

育苗管理

- ⑤育苗ハウスは1品種1棟を基本とするが、複数品種が入る場合は立札やテープ等で明確に区分すること。
- ⑥苗の取り違い防止と健苗を育成するために、品種名と播種月日を表示すること。

5月

移植作業

- ⑦苗取り・苗運搬者には、移植品種を明確に示し、取り違いに十分注意すること。
- ⑧1圃場1品種の作付を厳守し、品種の混交や自然交雑を防止すること。
- ⑨品種の切り替え時には、移植機を清掃し、付着した苗の除去を行なうこと。
- ⑩さし苗（補植）作業は、原則行わない。やむを得ず行う場合、品種の取り違えがないよう注意すること。

6月
7月

圃場管理

- ⑪前年度と異なる品種を作付する圃場では、「野良生え」に留意し、除草作業を入念に行なうこと。
- ⑫出穂期及び穂かがみ期に、異型株の株抜きを実施すること。特にもち米は必ず実施する。

8月

収穫作業 開始前の準備

- ⑬圃場に空きビン・空き缶等が捨てられていないかを点検し、ガラス・金属片等の混入防止を図る。
- ⑭コンバイン・乾燥機・籾摺機・粒選別機（ライスグレーダー）等の保守点検と、整備を必ず行い、電気掃除機や、エアガンも併用し、丁寧に清掃する。

9月

収穫作業

- ⑮品種切り替え時のコンバインは、穀粒が残留しやすい各搬送部の底面及びコーナー部の清掃を徹底すること。（又は、品種別専用コンバインを設置し、共同利用すること）。
- ⑯収穫作業を委託する場合は、圃場別に立札等を設置し、品種名を明記すること。
- ⑰生籾の搬送器材（軽トラック含む）は、1回ごとに清掃し、残留籾を無くすること。

乾燥調製作業

- ⑱乾燥時には、乾燥機に品種名を表示し、品種の取り違えを無くすること。
- ⑲乾燥前と品種切替時には、掃除機及びエアガン等で丁寧に清掃すること。（又は、品種別専用乾燥機を設置し、共同利用すること）
- ⑳乾燥機の周辺は、常に清潔に保ち、こぼれ落ちた籾粒は投入しないこと。
- ㉑一次貯留・仕上乾燥後の保管容器（籾蔵を含む）等には、品種名を表示すること。
- ㉒籾摺・粒選別機は、品種切替毎に丁寧に清掃し、残粒を無くすること。
- ㉓紙袋で出荷する場合は、印刷された品種名を確認のうえ充填すること。

出荷作業

- ⑳農産物検査時には、包装容器に氏名・品種名を荷札・カード等で明記し、取り違えを防止すること。

お米の異品種混入（コンタミ）防止の徹底を！

北海道／ホクレン／北集／北海道米麦改良協会

ホームページでもご覧になれます。http://www.beibasku.net/